

報道関係各位
プレスリリース

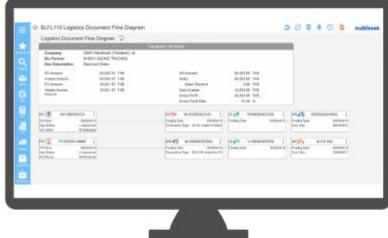
2025年9月25日

株式会社マルチブック

グローバルクラウドERP「multibook」、フィリピンの源泉徴収税（WHT）認識基準に対応した新機能を提供開始

グローバルクラウドERP「multibook(マルチブック)」を提供する株式会社マルチブック（本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡部 学、以下「当社」）は、フィリピンにおける源泉徴収税（Withholding Tax, WHT）が債権債務計上時に認識されることが明確化されたことを受け、その対応機能を提供開始したことをお知らせいたします。

グローバルクラウドERP 「multibook」、フィリピンの 源泉徴収税（WHT）認識基準に 対応した新機能を提供開始



■機能概要

一般的に源泉徴収税は入出金時に計上し、当該月に申告することが求められますが、フィリピンでは債権債務計上時に認識・申告することが明確化されました。これに対応するため、請求プロセスにおいては、請求伝票登録時に源泉税額を自動計算し、仕訳を自動生成する機能を実現しました。また、インボイス上では源泉税額、源泉税控除後の請求額を表示できるようにしています。

・源泉税率の保持

取引先×品目の組み合わせ、または取引先ごとに、源泉税率および源泉税計上勘定科目を保持します。

- ・源泉税の自動計算

請求伝票入力画面に「源泉税計算」ボタンを追加し、マスター設定に基づいて源泉税額を自動計算します。

- ・値引の対応

明細ごとに値引の入力が可能で、源泉税額は値引後の金額を基準に算出します。

- ・源泉税仕訳明細自動生成

源泉税については売掛金から自動的に減額し、別仕訳明細として生成します。

- ・インボイスでの源泉税情報の出力

インボイスフォーマットに、源泉税額、源泉税率、源泉税控除後の支払額を出力可能とします。

■フィリピン特有の法要件・商習慣への対応

仕入先請求プロセスについても、源泉税の認識基準明確化に対応する機能を準備しています。さらに、フィリピンの法要件や商習慣に対応した機能も順次提供予定です。「multibook」は、今後もフィリピンにおける最適なERP・会計ソフトとして進化を続けてまいります。

■グローバルクラウドERP「multibook」概要

2027年4月1日以後に開始する事業年度から強制適用となる新リース会計基準に対応。

導入が速い、処理速度が速い、解決が早い、速さを追求するグローバルクラウドERP。

12カ国語・多通貨・複数帳簿に対応し、全世界の拠点をシームレスに統合します。製造・商社・飲食・建設など多業種にわたり、上場企業から非上場企業まで、35カ国・600社以上での導入実績があります。

主な機能：会計、ロジスティクス、固定資産管理、IFRSリース資産管理、新リース会計基準、立替経費精算、マネジメントコックピット、BPOコックピット、外部連携(連結会計、倉庫管理等)機能

サービス名：「multibook」(マルチブック)

URL：<https://www.multibook.jp/>

※12の対応言語：

日本語、英語、タイ語、ベトナム語、韓国語、ミャンマー語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語(繁体字・簡体字)、インドネシア語

■株式会社マルチブック 会社概要

会社名：株式会社マルチブック

代表者：代表取締役社長 渡部 学

設立：2000年9月

本社：東京都品川区西五反田 1-1-8 NMF 五反田駅前ビル 5階

海外拠点：シンガポール・タイ・フィリピン

事業内容：グローバルクラウド ERP サービス「multibook」等の企画・開発・提供

URL：<https://www.multibook.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルチブック 広報：吉崎

TEL：070-4798-1150 MAIL: moe.yoshizaki@multibook.co.jp